

平成30年12月

各 位

安来市安来町 878-8
安来商工会議所

第151回簿記検定試験について（ご案内）

簿記検定試験（日商簿記）を下記の通り実施致しますので、ご案内申し上げます。

記

1. 主 催 日本商工会議所・安来商工会議所
2. 施行期日 平成31年2月24日（日）
3. 施行時間 3級……午前9時試験開始
2級……午後1時30分試験開始
4. 施行場所 安来商工会議所 1階 大ホール（102）
5. 申 込 先 安来商工会議所
6. 申込受付 平成30年12月17日(月)より平成31年1月24日(木)まで
〔土・日・祝祭日・平成30年12月29日～平成31年1月3日まで
では、休館です。〕
7. 申込方法 別添申込書（原則として本人の自筆）に必要事項を記入し、所定の受験料を添えて申し込む。
8. 受 験 料 2級：4,630円（税込）
3級：2,800円（税込）
2級と3級（併願）：7,430円（税込）
9. 試験種目及び内容 別添の通り
10. 合格点 別添の通り
11. 合格発表 2級3級は、3月4日（月）、商工会議所屋外掲示板並びに当所ホームページに合格者受験番号のみ発表します。
12. 合格証書 合格者に対しては、各級とも合格証書を後日郵送致します。
13. 注 意 点 ①試験当日は顔写真のついた「身分証明書」が必要。
②筆記用具指定（HBまたはBの鉛筆、シャープペン、消しゴムのみ）

「受験者への連絡・注意事項」

1. 商工会議所検定試験の申込時にご記入いただいた情報につきましては、個人情報保護法を遵守し、検定試験施行における本人確認、受験者・合格者台帳の作成、合格証書・合格証明書の発行および商工会議所検定試験に関する連絡、各種情報提供に使用し、目的外の使用はいたしません。
2. 受験に際しては、本人確認を行いますので、必ず身分証明書（氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できるもの〈例〉運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）を携帯してください。身分証明書をお持ちでない方は、受験希望地の商工会議所（または試験施行機関）にご相談ください。
3. 試験問題の内容および採点内容、採点基準・方法についてのご質問には、一切回答できません。
4. 取得点数は、受験者本人にのみ開示することができることになっていきますので、受験された商工会議所にお問合せください。但し、答案の公開、返却には一切応じられませんので、予めご了承ください。
5. 合格証書の再発行はできません。合格証明書の発行につきましては、受験された商工会議所にお問合せください。
6. 一度申し込まれた受験料の返還は認めません。
7. 一度申し込まれた試験日の延期・変更は認めません。
8. 試験会場には所定の申込手続きを完了した受験者本人のみ入場を許可します。
9. 試験会場への来場は時間厳守としてください。
10. 次に該当する受験者は失格とし、試験途中で受験をお断りするとともに、今後も受験をお断りするなどの対応を取らせていただきます。
 - ・ 試験委員の指示に従わない者
 - ・ 試験中に、助言を与えたり、受けたりする者
 - ・ 試験問題等を複写する者
 - ・ 答案用紙を持ち出す者
 - ・ 本人の代わりに試験を受けようとする者、または受けた者
 - ・ 他の受験者に対する迷惑行為を行う者
 - ・ 暴力行為や器物破損など試験に対する妨害行為におよぶ者
 - ・ その他の不正行為を行う者
11. 試験中の飲食、喫煙はできません。
12. 試験の施行後、不正が発覚した場合、当該受験者は失格または合格を取り消し、今後の受験をお断りするなどの対応を取らせていただきます。
13. 台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、システム上の障害、その他不可抗力による事故等の発生により、やむをえず試験が中止された場合は、当該受験者に受験料を全額返還いたします。ただし、中止にともなう受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。
14. 台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、盗難、システム上の障害等により、答案が喪失、焼失、紛失し採点できなくなった場合は、当該受験者に受験料を全額返還いたします。ただし、これにともなう受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

簿記検定試験種目および内容

級	科 目	内 容
1 級	商業簿記 会計学 工業簿記 原価計算 制限時間 3 時間	公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門。1級に合格すると、税理士試験の受験資格が得られる。 大学で専門に学ぶ程度の商業簿記、会計学、工業簿記、原価計算を習得し、財務諸表規則や企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる。
2 級	商業簿記 工業簿記 制限時間 2 時間	株式会社の経営管理に役立つ。 企業の財務担当者として必要な高校（商業高校）程度の商業簿記、工業簿記を習得している。 財務諸表を読む力が身につく、自社や取引先の経営内容を数字から把握できる。
3 級	商業簿記 制限時間 2 時間	企業で働く者に必須の基礎知識が身につく、商店や中小企業の経理事務に役立つ。 経理関連書類を読むことができ、青色申告などの書類作成もある程度できる。経理・財務担当以外でも必要な知識として評価する企業も多い。

※ 簿記検定試験の出題区分の改定、又は試験の詳細に関しては日本商工会議所 HP をご確認ください。

<http://www.kentei.ne.jp/bookkeeping/>

各 級 採 点 方 法

試験の採点は各級とも満点を100点とし、得点70点をもって合格とする。
試験問題の点の配分は検定試験の都度定める。ただし、1級に限り1科目毎の得点が40%に満たない者は不合格とする。